

# 新制服お披露目

# 大高ジャーナル

発行所  
鹿児島県立大島高等学校  
新聞部

大島高校特集  
～1年を振り返る～  
1面…新制服お披露目  
2面…体育祭特集  
3面…文化祭特集  
4面…世界自然遺産地

## 大高ミニギャラリー



▲今年の夏に岐阜絵文祭に参加しました。



奄美大島＝鹿児島県本土から南西約370km、面積712.35km<sup>2</sup>、広さ日本5位(本州等4島除く)の島、亜熱帯海洋性気候、奄美群島国立公園の一部

## 大高坂

人生は選択の連続である。劇作家シェイクスピアの代表作「ハムレット」の一説にある。人間の一日に千個以上の選択をしている。そのほとんどは「この問題はYかF」「どのパンを買うか」小さなものだろう。しかし、高校生活では「人生の決断」を迫られる。将来を左右する進路選択は、長い選択の中でも特に重大な選択だ。▼「僕だけの正解をいざ探しにゆくん」だ。人気バンドRADWIMPSの楽曲「正解」より引いた。選択後すぐに答えが分かるものばかりではなく、答えが一つに定まっているものばかりではない。私たちに正解に未来を予知する能力もない。そのため自分の選択に不安を感じ、悩み、苦しむ日々もある。どうすれば正解に辿りつけるのか。そもそも「正解」とは何なのか。▼それは自分の選んだ道である。一人一人に「僕だけの正解」がある。それは自分の行動次第で変わっていく。自分の選択は自分自身で正解にするのだ。これから私たちは、長い人生の中で多くの選択をすることになる。この高校で自分が選んだ道を正解にする方法を学びたい。

本年度から導入された新制服



## 124年目の大革命

### 制服改定で新たな風吹く

### 変更を悲しむ保護者の声も

大島高校では令和七年度入学生から、ジェンダーフリー対応の新たな制服が導入されることが決定した。これを受け、旧制服を着用する生徒らは制服の変更についてどのように感じたのか。さらに、保護者らはどう受け取ったのか。それぞれに尋ねた。

#### 生徒の声

△旧3年1組

菊野夏音さん

女子のスクラックスがあるのが良い。自転車通学の生徒の場合、スカートだと裾が巻き込まれる危険性があったり、下にズボンを重ねて履く手間が増えたりする。その点、スクラックスは動きやすく、行動範囲が広がるため、個人で自由に選択できるのは嬉しい。

△2年1組

政柚月さん

「ジェンダーレス化」や「多様性」が制服の自由選択を通して身近なものになり驚いた。これから、新しい制服により、自己表現ができることが素敵だと思う。その一方で、男子生徒の「ジェンダーレス化」や「多様性」はどのように守っていく

のか疑問に思った。男子生徒がスカートの選択をするハードルはかなり高いのではないか。その点の問題は、残り続けると思う。

△3年4組

大野清志郎

奄美の伝統工芸品である大島紬をネクタイやリボンなどの制服のデザインに取り入れられているのに加え、ジェンダーレスにも配慮した仕組みが良いと思った。また、新制服に代わって最初は高らしさがなくなってしまうと思った。しかし、男女ともにボタンに同じ校章が刻印され、高らしさが残されていて安心した。

#### 保護者の声

△保護者

思い出の詰まったこの制服が変わることにショック

6月9日(日)本校の文化祭内のイベントとして、生徒会主催の「大島紬×制服ファッションショー」が行われた。制服の改定案を披露するのはこの舞台が初めてであり、新制服のデザイン案を一目見ようと会場には多くの生徒や保護者が集まった。また、写真家の青山良さんの協力で、デザインに大島紬を取り入れたコラボ衣装も披露された。

#### 新制服ファッションショー

来年度の制服改定に向けて行われた本校文化祭のファッションショーステージ。クを受けた。学生時代はこの制服(現在の制服)に憧れて大島高校に入ったこともあり、かなり名残惜しいが、時代の流れのため仕方がないと思う。もし実現するならば、面影の残るデザインになってほしい。加えて、男女関係なく着用できる中間服のようなものがあると良いと思う。また、おさがりが使えなくなり、経済的な負担が大きくなる

ことが苦しい。現在、中学三年生に入学を控えた娘がいるため、相談しようと思う。

モデルになった生徒たちは男女2人1組になって候補の制服を着用し、ランウェイを歩いた。改定案には、現在着用されている、男子はカッターシャツに学ラン、女子はジャンパースカートのデザインから一変した、男女共にブレザー型のデザインが多く見られた。また、どの候補でも女子制服にスクラックスを導入するなど、多様性に配慮した工夫も見られた。

改定案の他にも、今回のファッションショーのために用意された、写真家の青山良さんとのコラボ衣装も披露。



△山下蓮

このように新しい制服になることにして生徒らは「ジェンダーレス化」や「多様性」といった新たな取り組みに期待を示した。

△前田海音



1961年、本校第13回卒業生によって撮影された生徒

【豊 ゆいか】

# 並々ならぬ思い白波にのせて



## 中南地区

応援の部、最優秀賞の中南地区(白色・大和村・宇検村・瀬戸内)のフィナーレ。興正堂団長のもと伝統を引き継ぎつつも、アレンジした見事な演舞に観衆から盛んな拍手が送られた。

(黄色・かねく) 金久中出身者と金久校区内の住民の生徒で構成



寮生で構成

(青色・いつぶ) 名瀬中出身者と名瀬中校区内の住民の生徒及び離島の



## 大島高名物 体育祭特集 ～昨年を振り返って～

令和6年9月1日。青い空が広がる中、本校上部グラウンドにて第75回体育祭が開催された。保護者から地域の方、中学生や小学生などの様々な世代の人が集まり、賑わった。また昨年にはなかった、応援団長によるエール交換が行われた。各地区の団長の声は選手たちの心に火をつけ、熱い戦いへと導いた。競技の部では上方(かみほう)地区、応援の部では中南(ちゅうなん)地区が最優秀賞に輝いた。

## 上方地区二年連続優勝



最終競技である百足競争。選手たちはこの日のために足を赤くしながらも過酷な練習を耐えてきた。スタートの合図がなり、観客の歓声と選手たちの掛け声がグラウンドに響き渡る。

縄が切れても、転んでしまっても、他の地区に負けじと一生懸命走り続けた。すべてのチームが完走し、会場全体が歓喜の渦につつまれた。生徒たちの目には悔し涙と喜びの涙が溢れる。毎年行っている競技であっても、それぞれの年で違うものとなる。青空の下で今日も大高は笑っている。

右、(紫色・しもこ)小宿・大川・崎原の各中学校出身者、小宿中学校内の住所の生徒で構成  
左、(橙色・かみほう)朝日中・芦花部出身者、朝日中校区内の住所の生徒で構成



## 競技の部

各地区の鮮やかなハチマキが一斉に動き大高体育祭の始まりをつげた。競技には綱引き、地区対抗リレー、部活動リレーなどの様々なものがある。選手たちは、各地区の勝利に向けて、火花を散らす。

## 応援の部

応援団の演舞は、午前と午後の二回行われた。各団が練習の成果を存分に発揮し、美しく気迫にあふれる演舞を披露した。



(緑色・りゅうりゅう・龍郷・笠利の出身者で構成される)

部活の名譽をかけた部活動リレー



露した。激戦のなか優勝をおさめたのは中南地区だ。中南地区の演舞の目玉である「波」は、そのなめらかさに誰もが魅了された。第75回体育祭、応援団の力強い声が会場の一体感をうみ、盛りあげてくれたことは言うまでもない。

チーム一丸となって綱を引いている上方女子



目は「オクラホマ・ミキサー」、二曲目はダンス部が振付をした「Good time」である。高校生らしい爽やかなダンスは会場の視線を一向に集めた。生徒だけではなく先生方も参加した。

二年生は大縄跳びで熱戦を繰り広げた。学年優勝は一組となった。25人で息を合わせ、一生懸命、跳んだ。

一年生は船漕ぎリレーを繰り広げた。5人1組のリレー形式で行われ、パイプがバトン代わりとなる。2組と1組が接戦となり、1組が学年優勝となった。



学年別種目で円陣を組む2年生

## 学年別種目

三年生はフォークダンス・集団演技が披露された。一曲

それぞれの学年が力を合わせ、挑んだ体育祭。普段、クラス全体で何かを目指して行動することはあまりないが、体育祭では、クラスみんなが一丸となり行動することができる。3年生は高校生活最後の体育祭。悔いなく力を発揮することができただろうか。1年生、2年生は3年生の背中を見て、また来年も大高高校体育祭を繋いでいくだろう。

〈豊ゆいか〉

加藤世月

# 第75回 令和6年度 文化祭

輝く!! 大高生の個性  
瞬間しか創れない碧で  
文化祭直前!! 振り返りスペシャル



閉会式後に文化委員を中心に肩を組んで円を作り文化祭のテーマソングを歌う在校生ら

令和6年度6月9日(月)本校にて第75回文化祭が開催された。ステージ部門も展示部門も、生徒一丸となって素晴らしい文化祭を作り上げた。ステージ部門では3年生のクラス演劇やダンス、吹奏楽部、書道部、ダンス部の部活動発表の他、幕間参加の有志グループのパフォーマンスが行われた。また、文化祭の終盤にはSNSで有名な動画配信者・ウンパルンパ(25)が登場。会場は歓喜の渦に包まれた。

展示部門では昨年度同様スタンプリーを実施。1・2年生のクラス展示から、委員会・部活動ごとの展示まで回れるよう工夫がされていた。

クラス演劇では、最優秀賞に3年2組、優秀賞に3年1組が輝いた。クラス展示の最優秀賞は1年1組と2年1組。優秀賞は1年2組と2年6組であった。

## 舞台部門

ステージ部門では、3年生によるクラス劇、部活動による発表ステージ、有志による幕間参加でのパフォーマンスが行われた。クラス劇では、3年生が各クラスの個性溢れる演劇や素晴らしいダンスを披露。その熱い思いの籠ったパフォーマンスに、思わず息を飲んだ。最優秀賞には3年2組の



勇志による舞台発表

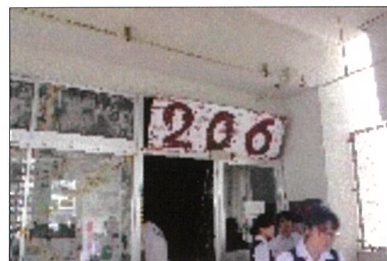
「ブラッシュアップライフスクール」優秀賞には3年1組の「Dance in the rain」が選ばれた。幕間発表では吹奏楽部や書道部、空手部、ダンス部による部活動発表や、有志によるダンス発表が行われた。昼休みには2組の有志によるバンド演奏と生徒会による制服改定記念ファッションショーが行われ、ライブパフォーマンスや新制服のデザインを一目見ようと沢山の人が訪れていた。また、幕間として、先生方による演劇も行われた。劇中では理科の峰元先生がギター演奏、英語科の平田先生がフルートを披露。普段の教務の姿のギャップで会場を大きく沸かせた。そして、文化祭の最後には、SNSで動画配信者として活躍しているウ



左上：新体操部の村田依吹さん(旧3-6)  
右上：3-3による「ハツコイ」舞台発表  
左下：吹奏楽部MCによる曲紹介  
右下：教員が生徒に送る「忘れないで」  
右：MCをする安田喜之助(旧3-4) 菊入透海(旧3-5)

## 個性の光る展示

午後には舞台発表と並行して行われていた展示観覧も保護者や小中学生、他校の生徒までもが訪れる大盛況となった。展示は1・2学年の各学級で行われるクラス展示と委員会や部活動による展示



2年6組の教室展示



写真家の青山さんの展示



1年6組の教室展示



1年4組の教室展示



大高書道部の展示を見回る大高

に分かれており、スタンプリーの実施で全21もの教室を上手く回れるよう工夫がされていた。1年生部門の最優秀賞は1年1組の「Haunted Circus」ギネス記録を塗り替える「優秀賞は1年2組の「1の2からの挑戦状」2年生部門の最優秀賞は2年1組の「人生ゲーム Enjoy your school life」優秀賞には2年6組の「事故物件206号室」が輝いた。委員会や部活動ごとの展示は、主に普段の活動内容の成果を発表するものが多く飾られていた。図書委員会のミステリーを題材とした体験型推理ゲームに生徒会の大島純写真展。茶道部の文化祭茶会や、書道部、美術部の作品展示、文芸部の文芸誌配布など各部活や委員会の個性が光っていた。

〔大野・清田〕

# 島の現状を知る

## ～世界自然遺産登録後、残された課題を探る～

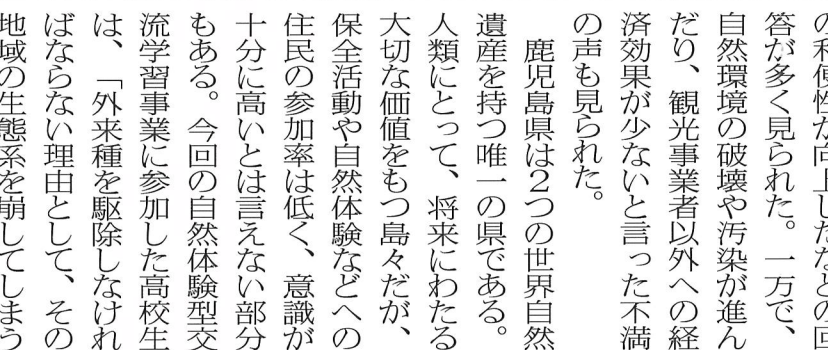
2021年7月26日、私たちの住むこの奄美大島は世界自然遺産に登録された。登録されてから環境への配慮が高まる中、今年の7月24～31日に2つの世界自然遺産「奄美・屋久島」実体験型交流学习が行われた。本校生徒であるケッペティ・ボラ・アヌッタラさん(31)、盛はな美さん(31)、清真帆さん(31)は、それぞれの島の気候や自然問題について考えた。

2021年7月26日、私たちの住むこの奄美大島は世界自然遺産に登録された。登録されてから環境への配慮が高まる中、今年の7月24～31日に2つの世界自然遺産「奄美・屋久島」実体験型交流学习が行われた。本校生徒であるケッペティ・ボラ・アヌッタラさん(31)、盛はな美さん(31)、清真帆さん(31)は、それぞれの島の気候や自然問題について考えた。



屋久島環境文化センターで講話を受けている

2024年7月26日、私たちの住むこの奄美大島は世界自然遺産に登録された。登録されてから環境への配慮が高まる中、今年の7月24～31日に2つの世界自然遺産「奄美・屋久島」実体験型交流学习が行われた。本校生徒であるケッペティ・ボラ・アヌッタラさん(31)、盛はな美さん(31)、清真帆さん(31)は、それぞれの島の気候や自然問題について考えた。



屋久島環境文化センターで講話を受けている

2024年7月26日、私たちの住むこの奄美大島は世界自然遺産に登録された。登録されてから環境への配慮が高まる中、今年の7月24～31日に2つの世界自然遺産「奄美・屋久島」実体験型交流学习が行われた。本校生徒であるケッペティ・ボラ・アヌッタラさん(31)、盛はな美さん(31)、清真帆さん(31)は、それぞれの島の気候や自然問題について考えた。



屋久島環境文化センターで講話を受けている

### 新聞部 部員募集中

初心者大歓迎！  
体験だけでも大丈夫

【詳細情報】

- 活動曜日 月曜日、木曜日
- 活動内容 記事作成、一眼カメラを使った写真撮影取材(地域の人や先生、飲食店など)

【部活について】

- どれだけ兼部をしても大丈夫です！
- いつでも入部できます！
- 男女関係なく入部できます！

### 快適な大高生活のすゝめ

新年度が始まり、大島高校へ入学した私たち新聞部1年生の中では、学校生活をより快適に過ごすために確かめたいことができた。それは、「移動時間を短縮する方法である。」

#### 大島の校舎の地図

目的は職員室、購買、武道館下の販売機の3つだ。そこで今回、このコーナを借りどのルートが速いのかタイムを計り、確かめることにした。私たちは最も離れた教室からのルートを使い最短ルートを探す。1つ目は職員室。1年6組の教室から、管理棟の階段と南教室棟(A)の階段で確かめた。結果▼管理棟・1分32秒

2つ目は購買。1年1組の教室から、北教室棟(B)の階段と南教室棟(A)の階段で確かめた。結果▼管理棟・1分27秒

3つ目は武道館下の販売機。1年6組の教室から、北教室棟(A)の階段と南教室棟(B)の階段で確かめた。結果▼北教室棟(A)・1分53秒  
南教室棟(B)・2分28秒

武道館下の販売機は北教室棟の階段を使ったルートがよい。

まとめると、購買と武道館下の販売機は北教室の階段から、職員室は南教室棟の階段から行く移動時間が短縮できるという結果になった。今回調べた結果は、歩くスピードに個人差があったり、混み具合に差がなかったりあくまでも目安ではあるが、是非参考にしてほしい。

【豊ゆいか・前田海音】

上：実際にタイムを計って記録している様子